

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 出来形が特に優れている	<input type="checkbox"/> 出来形が優れている	<input type="checkbox"/> 出来形が特に良好である	<input type="checkbox"/> 出来形が良好である	<input type="checkbox"/> 出来形が適切である	<input type="checkbox"/> 出来形が適切でなく不適合に該当する	
I 出来形	建築・電気・機械（共通）	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 1. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 <input type="checkbox"/> 8. 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他〔理由： 〕					<input type="checkbox"/> 1. 出来形が不適切であった為、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。 <input type="checkbox"/> 2. その他〔 〕	
		<p>●判断基準</p> 該当項目が90%以上・・・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ a' 該当項目が70%以上80%未満・・・・ b 該当項目が60%以上70%未満・・・・ b' 該当項目が60%未満・・・・・・・・ c		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。 ②□欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は-を記入する。 ③削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ④評価値(%) = (評価数() / 対象評価項目数()) × 100</p> </div>				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
II.品質	暖冷房 衛生設備 工事 機械設備 工事	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. その他〔理由： 〕</p>					<p><input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 〔 〕</p>
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>該当項目が60%未満・・・・・・・・ c</p>		<p>①目的物の品質の水準を評価すること。</p> <p>②品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>③□欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」はーを記入する。</p> <p>④削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>⑤評価値(%) = (評価数() / 対象評価項目数()) × 100</p> <p>⑥建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。</p>			

④ 考查項目	工 種	a	b	c	d
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が優れている	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が良好である	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が適切である	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が劣っている
Ⅲ.出来ばえ	暖 冷 房 衛 生 設 備 工 事 機 械 設 備 工 事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 4. 使用者への安全に対する配慮及び環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 5. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 6. その他〔理由： 〕 ● 判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ b 該当項目が80%未満・・・・・・・・ c			<input type="checkbox"/> 1. 出来ばえが劣っている。
① 全体的な仕上がり状態、機能を評価する ② 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ③ □欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は-を記入する。 ④ 削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤ 評価値(%) = (評価数() / 対象評価項目数()) × 100 ⑥ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 ⑦ 建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。					